

2018－19年度EMC事業通信 No.6



2018－19年度EMC事業主任 小野 勲^{とくに}紘(六甲部西宮)

○10月・11月分EMC集計中、増員継続中

* 11月末現在の会員数は**1,512名**(前期比+48名)／83クラブ

8月分・9月分の集計表を作成中です。9月、10月と部会シーズンが続きまして、集計が遅くなり、申し訳ありません。ほどなく公開いたします。なお、10月、11月分の報告は12月5日締切です。併せてご報告をお願いいたします。

今期は九州部で熊本五福クラブが華々しくチャーターされて九州部は久方ぶりに300の大台を超えました。西日本区としても順調に増加しております。ただ例年のことで、11月はやや中だるみの時期があり小休止は止むを得ません。12月はクリスマスシーズン！皆様のお友達を是非、クリスマス祝会にお招き下さい。1月になれば各部において“新年合同例会”が予定されています。この場においても、お友達にお声を掛けて下さい。

○EMC シンポジウム

今期は京都部、阪和部、中西部、六甲部、西中国部、九州部において EMC シンポジウムを開催してきました。今後の予定は以下の通りです。

* 近々の予定 *

☆中部 EMC シンポジウム 12月22日(土)13時より 名古屋 YMCA

(連絡先: 柴田中部部長、塚本 EMC 事業主査)

☆びわこ部 EMC シンポジウム 1月26日(土)13時30分より 近江八幡勤労福祉会館

アクティ近江八幡2F会議室(連絡先: 池田びわこ部部長、岡田 EMC 事業主査)

中部、びわこ部の皆様、大勢で参加下さい。

○中部とやまクラブ新規チャーター

中部のとやまワイズメンズクラブが2019年2月10日(日)に設立総会を持ち、2019年5月1日(土)にチャーターナイト(国際認証状伝達式)を行い、西日本区の新しい仲間としてスタートいたします。皆さま大ぜいで参加いただき、門出をお祝いをいたします。

○EMC 事業実施報告書のお願い

今期も早や半期が終わろうとしております。その間、皆様の部、クラブでは活発な EMC 活動が展開されておられると思います。そういった EMC 強化のための例会やイベントを実施戴いた場合、その様子を「EMC 事業実施報告書」に記載いただき当方へ送付下さい。西日本区HPの EMC 事業通信を通じて、西日本区の皆様にご高覧いただき、水平展開したいと思います。書式はHP内の資料庫から利用下さい。出来れば写真を添付下さい。(例: EMC 例会、EMC 研究会、プラスワン例会、EMC に寄与する様々なイベントなど)

今期各部、各クラブで実施された EMC 事業関連の活動状況が、「EMC 事業実施報告書」に認められて届いております。事業通信の末尾に紹介させて頂きました。

○EMC 事業通信特別号(「EMC のバトンタッチ」)への原稿お願い

各部部长ならびに各部 EMC 事業主査を通じて、「EMC の」バトンタッチへの原稿をお願いし

ております。皆さまから戴いた貴重なご経験やノウハウをこのコーナーでご高覧いただき、皆様のクラブにも水平展開いただくことを期待しております。また皆様のクラブで EMC 事業の例会やイベントを開催されておられる場合、どしどしご報告下さい。内容のスタイルは問いませんので、少しでも多くのメンバー獲得に寄与するイベントであれば何でも結構です。ワイズだけでなく一般の皆様にアピールするイベントであれば大いに歓迎です。

○今後の予定

- 12月中旬:国際ブースター賞申請案内。YES 献金のご案内。
- 1月末:国際ブースター賞適用期間終了。申請締め切り:2月10日。
- 2月中旬:第3回 EMC 事業員会。
- 3月15日:YES 献金振り込み締切。(適用人数7月1日付半年報人数×500円)
- 3月末:西日本区大会における表彰対象新申請締め切り。4月10日:申請締切。

NGT98作戦!

N賑やかな例会に、G元気で若々しく、T楽しいお友達を98人お招きしましょう。

《コラム》 西日本区 EMC 事業改革に再挑戦 EMC 事業主任の大きな独り言



ワイズにおける EMC とは?—交流の難しさと願い—

皆さんは EMC という、会員を増強するために勧誘活動を行ったり、退会のないように例会を充実させるといった表面上の啓発活動だけだと思いませんか。では皆さんにお尋ねいたします。皆さんはワイズメンズクラブを辞めたいと思ったことはありますか? 実は私は何度もあります。では、それなのによく今迄在籍して、おまけに皆をリードするお役目の EMC 事業主任まで務めているのか?といわれるでしょう。

ワイズメンズクラブは、YMCA を支えて社会に奉仕を標榜する任意団体ですが、その前に会員同志の“交流”を大切にしている団体でもあります。一言に“交流”といっても必ずしも、DBC や IBC だけを差すものではありません。むしろ、ワイズにおける例会や多くの活動全てが、“交流”から成り立っていると思われれます。ワイズメンズクラブに集まる会員は、育ちも家庭も、職業も、性別、年齢、受けてきた教育、信仰や主義信条など多くの「違い」を持った人々の集まりです。会社ではこうだったからとか、家庭ではこうだとか、自分が学んだ学校ではこうだったといった違いは当然、全ての皆さんが持ったまま参加しています。国際に目を転じれば、国籍、政治体制や歴史、言語、肌の色、環境、教育、宗教、住まい、食事など何と違いの多いことでしょうか。

そういった違いはワイズに入ったからといって一朝一夕に変わるものではありません。まずはそういった“違い”を認めることからスタートしなければなりません。そんな違いの多い団体にどうして皆さんは集まるのでしょうか。私は会社や家庭では味わえない“癒し”があるからだと思いません。江戸時代、男尊女卑の時代に阻害された女性たちが駆け込んでいた“駆け込み寺”というものがありました。現在でもその役割を担っている組織やボランティアも存在するでしょう。いわばワイズはそんな社会や家庭とは離れた一種の“駆け込み寺”的な役割も持っているのではないかと考えています。会社や家庭で面白くないことがあっても、ワイズに行けばしっかり握手で迎えてくれて、話を聞いてくれる仲間がいるということで、集まっているでしょう。一方「一身上の都合」とか「自己都合」などの理由で奥ゆかしく去っていかれる方の中には、ワイズで話を聞いてもらえなかったからという裏返しでもあったのかも知れません。実は先にお話しましたように、私の

ような方も多いのではないかと考えています。そんな方を少しでもワイズに留まっていたきたいという願いを込めて務めていることも事実です。30人の内、29人に話を聞いてもらえなかったとしても、たった1人に話を聞いてもらえたら、人は癒されるものです。聖書の中によく出てくる100匹の羊を飼っている羊飼いが、居なくなったたった1匹の羊を大切に探すという有名なお話にも似ています。(マタイによる福音書18章10-14節、ルカによる福音書15章3-7節)

人の話を聞くときは「**聴く**」という「傾聴」の姿勢が大切です。「聴く」とは字のごとく「耳」と「目」に「心」を「+」して「聴く」ことなのです。そこには

- ① 無条件の肯定
- ② 相手の話を聴いたらまずは、ありのままを受け入れて、自分の経験や考えを押し付けない、また秘密を守ること
- ③ 最後にお互いが理解し合って(自己理解)人生において自己実現できるように努力し合うこと

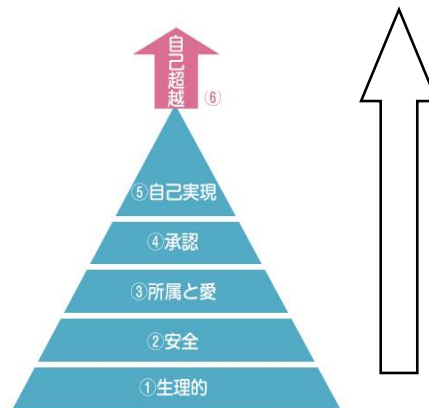
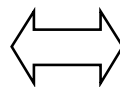
★これらの「**聴く姿勢**」は現在、カウンセリングの基本姿勢として、心理学者のカール・ロジャーズ博士が提唱した理論「来談者中心療法」として多くの分野で普及実施されています。

☆その際には出来るだけ「**D行の言葉**」例えば「だって」「でも」「どうして」「だから」「どうも」などの言葉は使用しない方が人間関係が良くなると言われます。これらは相手を否定する言葉だからです。私たちは意見の違う相手に出会うと真っ向から対立しがちです。そこには自己主張に逸るあまり相手を思いやる姿勢が薄れてしまい、言葉が強くなる傾向があります。そこはぐっと堪えて、まずは優しく相手の話に「耳」と「目」に「心」を「+」して「優しさ」を傾ける姿勢を持ちたいものです。ここには必ずしも「口」は出てきません。「見守り」といった言葉を必要としない「ノンバーバル・アプローチ」もあるからです。

私たちは会員を増やしたいというEMCの前にまずは、会員同志の基本的な“交流”を大切にしたいものです。その中から仲間は自然と増えるものと期待します。交流はまずは家庭から始まります。マザー・テレサの言葉です。“**愛は家庭から**” 家庭は一番小さなしかも最初の“**交流**”の場でもあるのです。



EMC は交流から奉仕へ！



マズローによる「**満足度欲求5段階説**」の自己実現への道

EMC事業実施報告書の公開

2018－19年度西日本区 EMC 事業委員会

今期も EMC 事業を中心とした活発な活動を「EMC 事業実施報告書」にして報告いただいています。そんな様子を公開いたします。皆様のクラブでも EMC 事業を強化する活動がありましたら、是非お知らせ下さい。

今期ご報告いただいています報告書は以下の通りです。

1. 瀬戸山陰部岡山クラブ:EMC 例会(2018年7月17日)
2. 京都部京都めいぷるクラブ:ENC 納涼例会(2018年8月4日)
3. 京都部京都トップスクラブ:トップス経営塾第5弾(2018年9月14日)
4. 京都部京都トップスクラブ:トップス経営塾第6弾(2018年11月1日)
5. 京都部京都トップスクラブ:新入会員オリエンテーション
(2018年11月7日)
6. 京都部京都ウエストクラブ:EMC 例会(2018年11月22日)
—みんなで日本酒を嗜む会・京都の伝統産業「梓酒造」を知る会—
ゲストに門川京都市長はじめ48人を招いて開催

1. 瀬戸山陰部岡山クラブ EMC 例会

7月17日19時～、岡山教会にて 参加者:16名

7月EMC例会報告

日時:7月17日(火)7:00～

場所:日本基キリスト教団岡山教会 4階

出席者:秋山、石原、河田、蔵知、白鳥、高原、滝川、竹内、谷川、長壽、磨田、丸山、三浦、米良、渡辺、ゲスト:小野勅紘

卓話「NGT98 作戦」 小野勅紘西日本区EMC事業主任

(NGT98 N:賑やかな例会 G:元気で若々しく T:楽しいお友達を98人お招きしましょう)

7月新年度期スタートはEMCの月ということもあり、小野勅紘西日本区EMC事業主任をお迎えし、事業主題である「NGT98 作戦」を、「西日本区新生ワイズ起こし運動」との取り組みを交え、お話しいただきました。西日本区の過去18年間の各部、クラブごとのメンバー数の推移

のデータをベースに京都、九州のメンバー増加、逆に減少をしているクラブ等分りやすくお話しくださいました。また、メンバーが増加クラブはなぜ増加しているのか、傾向を研究し水平展開してはどうか、減少しているクラブは「去るものは追わず」ではなく、やめたメンバーの動機、原因を調査することにより対策を練ることでクラブ全体の安定が計れる、等など貴重なアドバイスもしてくださいました。短い時間しか取れませんでした。卓話後の対話も活発におこなわれ、今後のクラブの在り方をしっかり考えていかねばならない事を実感いたしました。

(石原康正)



2. 京都めいぷるクラブ EMC 納涼例会

1. 事業名 8月第1例会「EMC 納涼例会」
2. 実施年月日(又は期間)2018年 8月 4日 (土)
3. 実施場所 しょうざんリゾート京都
4. 概要・結果(別紙可、実施資料・写真添付)

8月第1例会は恒例の納涼例会ですが、今期はメンバー候補2名、元メンバー1名の参加を頂き“EMC 納涼例会”として開催。元メンバーとの久しぶりの再会も話しも弾み楽しい時間となりました。メンバー候補のお二人も一人は来月第2例会でゲストスピーカーにもう一人も近々入会オリエンテーションを開催する予定となりました。



・まずは、井上(耕)副会長の乾杯！

元メンバー、メンバー候補と共に美味しい料理と楽しい会話を楽しみました。



- ・坂下会長、松村副会長をはじめクラブ一丸となって今期の事業を盛り上げてゆきましょう。

3. 京都トップスクラブ EMC 例会

1. 事業名 : トップス経営塾第5弾

2. 実施年月日(又は期間) 平成30年9月14日

3. 実施場所 京都三条 YMCA マナホール

4. 概要・結果(別紙可、実施資料・写真添付)

「メンバー満足度向上」の一貫として恒例になりましたトップス経営塾の第5弾を開催致しました。今回はマーケティング、集客のスペシャリストであるコンサルの三輪幸司氏を愛知県からお招きして、「結果のでるマーケティング」というテーマで、講演して頂きました。トップスメンバー22名、ユースを含むゲスト8名に参加いただき、経営に役立つ経営塾の開催ができました。参加されたゲストさんの中には、ワイズメンズクラブ、トップスクラブに興味をお持ち頂けた方も数名いらっしゃいました。(別途資料、写真添付)

4. 京都トップスクラブ EMC 例会

1. 事業名 : トップス経営塾第6弾

2. 実施年月日(又は期間) 平成30年11月1日

3. 実施場所 京都三条 YMCA101 号室

4. 概要・結果(別紙可、実施資料・写真添付)

恒例になりましたトップス経営塾の第6弾を開催致しました。今回の講師はトップスクラブのキーメンバーで、ワイズ歴36年の新山兼司ワイズです。講演内容は「ワイズの出会いで人生が変わった! ~事業多角化のあゆみ~」というテーマで、新山ワイズが若くしてワイズと出会い、多くの経験や人との出会いで、タイル事業を専業としていた、会社を不動産、建築、一級建築士事務所、保険代理店など、関連事業を多角化され事業を大きく躍進された経緯をレクチャーして頂き

5. 京都トップスクラブ EMC 例会

1. 事業名 : トップス新入会員オリエンテーション
2. 実施年月日(又は期間) 平成30年11月7日
3. 実施場所: 京都ウエステイン都ホテル 菊の間
4. 概要

今期初となる新入会員オリエンテーションを開催致しました。9月開催の「ゲストさん歓迎例会」に出席され、クラブ会則規定により、例会2回連続出席された3名の方の入会条件が整い、オリエンテーションを開催して、YMCA、ワイズメンズクラブ、トップスクラブの詳細な説明を行いました。有志のメンバーも15名参加し、厳粛に執り行われました。新入会員の3名の方々から、正式に入会の意志を確認して、役員会で承認されれば12月、1月に入会式を行う予定です。(別途写真、資料添付)

6. 京都ウエストクラブ EMC 例会

1. 事業名
EMC 例会 みんなで日本酒を嗜む会 京都の伝統産業「酒造」を知る
2. 実施年月日(又は期間) (西暦) 2018年 11月 22日
3. 実施場所: 京都東急ホテル「葵の間」(京都市下京区堀川五条下ル)
4. 概要・結果(別紙可、実施資料・写真添付)※箇条書きに記載

クラブメンバー増強のため、ウエストクラブの活動を知っていただき、メンバーとゲストが楽しめる会を開催するべく企画しました。京都には世界に誇れる伝統工芸がたくさんありますが、その中でも日本酒は外国人にも人気が出てきています。グローバルに活動するワイズメンの嗜みとして、日本酒をもっと理解するということも視野に入れました。

今回はまず、ウエストクラブの最近の活動紹介をさせていただきました。

そして、酒蔵さんにご講演いただき、自慢の日本酒を味わい、ちょっとしたうんちくを学べるようにお話しいただきました。

また、「京都、日本酒とくれば、門川京都市長！」ということで会の趣旨を書面にし、8月末頃に今回ご参加いただけないかオファーをしました。

門川市長にもご公務でお忙しい中駆けつけていただき、日本酒条例に至った経緯や、日本酒で乾杯することの意味を語っていただきました。

ゲスト 30名、ビジター14名、来賓 5名、メンバー32名の参加でした。

翌日の門川市長のフェースブックにも、ウエストクラブへ訪問したことの報告が掲載され

ておりました。ご来場いただいた方々には、伝統工芸「清水焼」のおちょこをお土産としてお持ち帰りいただきました。日常の中で工芸品があるちょっとした贅沢を味わっていただくため、そしてウエストのことを思い出していただくための試みでした。ゲストの方々には二次会にも参加していただき、1名は入会の意味確認ができました。



※「EMC 事業実施報告書」のフォーマットです。コピーしてお使い下さい。

EMC 事業実施報告書

年 月 日

ワイズメンズクラブ国際協会

西日本区理事 _____ 様

西日本区EMC事業主任 _____ 様

部 部長 _____ 様

部事業主査 _____ 様

_____ 部 _____ クラブ

_____ 会 長 (印)

_____ EMC担当 (印)

下記の通り EMC 事業活動を実施しましたので、報告します。

記

1. 事業名
2. 実施年月日（又は期間）
3. 実施場所
4. 概要・結果（別紙可、実施資料・写真添付）

5. その他

※4部作成の上、理事及び事業主任・部長及び事業主査へご提出下さい。